

現状認識

統合イノベーション戦略2020やSociety5.0でも掲げられている少子高齢化社会に即したスマートシティの実現には、都市経営を担える「デジタル×都市」のデータサイエンティストの育成が重要課題！

【産業界等のニーズ】

- ✓ レーザ測量成果の点群データの利用が建設・インフラDXの核となっており、点群データを扱える人材の輩出を強く要望
- ✓ 民間提供の人流データや自動車の走行・挙動履歴等の交通ビッグデータ、民間地図やネットワークデータを用いた都市DXを担う都市調査・分析ができる人材の輩出を強く要望

【大学の教学環境の実情】

- ✓ レーザ測量の技法や点群データ処理、実社会で扱われている交通ビッグデータ（人流データ等）、民間地図やネットワークデータを扱える教学環境がない
- ✓ 産業界等のニーズに応える人材育成が困難な状況にある

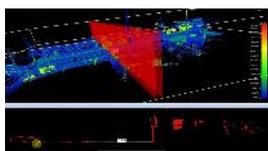
目論見

デジタルツイン環境を構築し、レーザ機器や交通ビッグデータを導入して「都市デジタルツイン環境におけるデータサイエンティスト育成プログラム：Urban Data Transformation」を構築

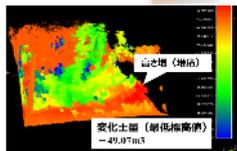
① 国土基盤の整備・管理



レーザ測量



道路空間配分解析



土砂災害解析

点群データを用いた空間解析例

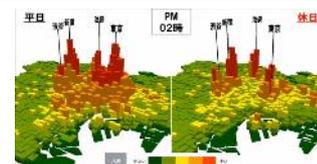
実社会



デジタルツイン



② 都市調査・解析



交通ビッグデータを用いた都市調査・解析